

日本ストレス学会・日本産業精神保健学会  
独) 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター 共催  
平成24年度国際学際交流シンポジウム

【認知療法を活用した職場のストレス対策】

アメリカ精神医学会の公的な診断分類である「DSM-IV-TR 精神疾患の診断・統計マニュアル」の作成委員長でもあり、精神科鑑別治療学: Differential Therapeutics in Psychiatry-The Art and Science of Treatment Selection の著者でもあるアレン・フランセス教授に、【精神疾患の診断と鑑別治療】と題した御講演をいただきます。フランセス教授は著書の中で、精神疾患の治療では、患者のニーズに合わせた最も適切な治療法を選択することを目標として、様々な治療の可能性を、治療の場・形態・技法・期間といった観点から組織的・系統的に計画し、治療法を選択・併用していくべきであると主張しておられます。精神疾患の診断や治療は、臨床場面のみならず、学校保健、産業保健の場において様々な問題を含んでおり、今回の御講演では多くの示唆をいただけるものと思われます。

また、特別講演に引き続き精神疾患の治療法の一つである認知療法にフォーカスをあてたシンポジウム【認知療法を活用した職場のストレス対策】を開催します。認知療法は、薬物療法とは別のアプローチとして治療効果が既に確認されており、産業保健現場でも認知療法の活用に期待が高まっています。今回は、認知療法の概念、職域での認知療法の実際の活用法とその効果について4人のシンポジストの先生からお話をいただく予定です。職場のメンタルヘルスに関心をお持ちの諸先生方に是非ご参加いただきたいと思ひます。

【特別講演】 13:10~14:10 座長 大野 裕 (独) 国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター)

精神疾患の診断と鑑別治療 (逐語通訳つき)

Allen Frances 教授 (デューク大学名誉教授)

【シンポジウム】 14:30~16:30

日本医師会認定産業医の生涯研修 (専門2単位): (予定)

認知療法を活用した職場のストレス対策 座長 野村 忍 (早稲田大学人間科学学術院)

田中克俊 (北里大学産業精神保健学)

「認知療法を活用した職場のストレス対策」 大野 裕 (独) 国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター)

「認知療法を活用した社員教育」 森まき子 (コニカミノルタ総合サービス(株)産業医)

「認知療法を活用した職場の不眠対策」 衛藤理砂 (北里大学産業精神保健学)

「認知療法を活用した復職支援の実際」 田島美幸 (独) 国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター)

日時 平成24年6月3日(日) 13:10~16:30 12:40 開場

場所 筑波大学東京キャンパス文京校舎 (詳細地図裏面)

住所: 〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1

交通 最寄駅: 丸ノ内線茗荷谷駅下車「出口1」徒歩2分程度

参加費 会員 2,000 円、非会員 3,000 円 (当日徴収)

申込 5月24日(木)までに下記事務局あてに、氏名および連絡先を明記のうえメールかFAXでお申し込み下さい。当日参加も受け付けますが、満席に達した場合は参加をお断りすることがございますのでご了承ください。

★シンポジウム「認知療法を活用した職場のストレス対策」は、日本医師会認定産業医の生涯研修(専門2単位)として申請中です。認定産業医の単位を希望の方は、氏名、所属医師会、認定番号、ご連絡先を明記し、5月24日(木)までに事前申し込みを行ってください。

事務局 〒160-8402 東京都新宿区新宿 6-1-1

東京医科大学公衆衛生学講座内

日本ストレス学会事務局

TEL: 03-3351-6141 (237)

FAX: 03-3353-0162

E-mail: [stress@tokyo-med.ac.jp](mailto:stress@tokyo-med.ac.jp)

### 【筑波大学東京キャンパス文京校舎案内図】

住所：〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1 / 電話：03-3942-6918

交通：最寄駅：丸ノ内線茗荷谷駅下車「出口1」徒歩2分程度



キャンパスマップ 東京キャンパス文京校舎（旧大塚地区）

